

我が社における自主保安活動シリーズ

(第21回)

高圧ガス保安経済産業大臣・高圧ガス保安協会会長表彰を受賞された組織（優良製造所および優良販売業者）は、長年にわたる保安啓発と自主的な保安活動への取組みを積極的に行っております。

そこで、受賞組織に高圧ガス災害の防止など自主保安の維持向上に努めている活動等を執筆していただきました。

高圧ガスの製造所および販売事業所で保安に関わる方々には大いに参考になるものと期待しています。2019年1月号（Vol. 56 No. 1）から連載を開始し、9月号では、「我が社における保安管理活動」優良製造所として、徳山積水工業㈱ 江口吉彦様に、「我が社における自主保安活動」優良販売業者として、和田プロパン㈱ 和田直樹様に自社の保安に対する考え方および今後の抱負などについてご紹介していただきました。

我が社における自主保安活動シリーズの掲載号

- 第1回 我が社の保安安全活動（優良製造所編） ㈱サイサンガステクノ 横山義巳 Vol.56 No.1
- 第1回 保安レベルの維持向上への取組み（優良販売業者編） ㈱サンワ 田部井普 Vol.56 No.1
- 第2回 我が社における保安管理活動（優良製造所編） 上毛天然瓦斯工業㈱ 平石 誠 Vol.56 No.2
- 第2回 保安レベルの維持向上への取組み（優良販売業者編） 紀伊国屋高圧㈱ 若林比呂之 Vol.56 No.2
- 第3回 保安レベルの維持向上への取組みについて（優良製造所編） ㈱クレハ 小野佐市 Vol.56 No.3
- 第3回 我が社における保安管理活動（優良販売業者編） ㈱須山液化ガス 須山光男 Vol.56 No.3
- 第4回 我が社における保安管理活動（優良製造所編） 雪印メグミルク㈱ 田中秀和 Vol.56 No.4
- 第4回 我が社における保安管理活動（優良販売業者編） 十文字ガス㈱ 小関史郎 Vol.56 No.4
- 第5回 我が社における保安管理活動（優良製造所編） ㈱ネリキ 新戸裕之 Vol.56 No.5
- 第5回 我が社における保安管理活動（優良販売業者編） ㈱西條プロパン 辻田 隆 Vol.56 No.5
- 第6回 高圧ガス容器製造事業所における自主保安活動の取組み（優良製造所編） ㈱関東高圧容器製作所 瀧澤史朗 Vol.56 No.6
- 第6回 我が社における保安活動（優良販売業者編） 昭和電工ガスプロダクツ㈱ 岡崎 徹 Vol.56 No.6
- 第7回 我が社における災害への取組み（優良製造所編） 江藤酸素㈱ 日下明宏 Vol.56 No.7
- 第7回 我が社における保安管理活動（優良販売業者編） ㈱星医療酸器 鈴木省悟 Vol.56 No.7
- 第8回 我が社における自主保安活動（優良製造所編） ㈱加地テック 上田伊佐三 Vol.56 No.8
- 第8回 我が社における保安活動（優良販売業者編） ㈱巴商会 小澤 正 Vol.56 No.8
- 第9回 保安レベルの維持向上への取組み（優良製造所編） 九州エア・ウォーター㈱ 東 成政 Vol.56 No.9
- 第9回 我が社における自主保安活動（優良販売業者編） 東海浴材㈱ 松下勝実 Vol.56 No.9
- 第10回 我が社における自主保安活動（優良製造所編）—保安レベルの維持向上への取組み—
近畿酸素㈱ 前川俊也 Vol.56 No.10
- 第10回 我が社における自主保安活動（優良販売業者編） 岩谷産業㈱ 飯田 宏 Vol.56 No.10
- 第11回 我が社における保安管理活動（優良製造所編） サントリープロダクツ㈱ 成田光臣 Vol.56 No.11
- 第11回 保安レベルの維持向上への取組み（優良販売業者編） 富士瓦斯㈱ 津田維一 Vol.56 No.11
- 第12回 我が社における自主保安活動（優良製造所編） 理研計器㈱ 友松一誠 Vol.56 No.12
- 第12回 保安レベルの維持向上への取組み（優良販売業者編） 松江ガス供給㈱ 曾田 悟 Vol.56 No.12

我が社における自主保安活動シリーズの掲載号（続き）

- 第13回 保安レベルの維持向上への取組み（優良製造所編） ㈱トーエル 室越義和 Vol.57 No.1
- 第13回 我が社における自主保安活動（優良販売業者編） ㈱北国産業 西野稔彦 Vol.57 No.1
- 第14回 我が社における保安管理活動（優良製造所編） 日野自動車㈱ 清水 明 Vol.57 No.2
- 第14回 保安レベルの維持向上への取組み（優良販売業者編） 岡安産業㈱ 岡安啓右 Vol.57 No.2
- 第15回 我が社における保安管理活動（優良製造所編） エア・ケミカルズ㈱ 中込正樹 Vol.57 No.3
- 第15回 営業所における自主保安活動への取組み（優良販売業者編） 東横化学㈱ 若林孝幸 Vol.57 No.3
- 第16回 我が社における保安管理活動（優良製造所編） 新相模酸素㈱ 渡邊 勲 Vol.57 No.4
- 第16回 自主保安活動への取組み（優良販売業者編） ㈱ガス研 加藤隆治 Vol.57 No.4
- 第17回 保安レベルの維持向上への取組み（優良製造所編） ㈱サン・ペトロケミカル 河野守弘 Vol.57 No.5
- 第17回 我が社における保安管理活動（優良販売業者編） 広島ガス三原販売㈱ 重安浩司 Vol.57 No.5
- 第18回 保安レベルの維持向上への取組み（優良製造所編） ㈱合同資源 大谷康彦 Vol.57 No.6
- 第18回 保安レベルの維持向上への取組み（優良販売業者編） ㈱ガスパル東北 伊藤 忠 Vol.57 No.6
- 第19回 我が社の保安における取組みについて（優良製造所編） サカヅ産業㈱ 宮林亮輔 Vol.57 No.7
- 第19回 「安全」と「安心」の追及を使命として（優良販売業者編） ㈱田沼酸素商会 田沼秀樹 Vol.57 No.7
- 第20回 我が社の自主保安活動への取組み（優良製造所編） サンケミカル㈱ 加々良靖之 Vol.57 No.8
- 第20回 我が社における自主保安活動の歩み（優良販売業者編） 東洋プロパン瓦斯㈱ 後藤拓郎 Vol.57 No.8

我が社における保安全管理活動(優良製造所編)



徳山積水工業株式会社 取締役 ポリマー製造部 部長

江口 吉彦

1 はじめに

徳山積水工業株式会社(以下、「当社」という)は、積水化学グループに属し、原料や部材の生産を担う事業会社である。事業内容を、下に記す。

<ポリマー事業>

- ・塩化ビニル系樹脂、およびその加工品の開発・製造・販売
- ・アクリル系機能粒子、およびその加工品の開発・製造・販売

<メディカル事業>

- ・医薬品、医薬部外品、医療機器の開発・製造・販売

2 会社概要

当社は、山口県周南市の周南コンビナートに所在し、1964年1月20日設立で、創立56周年の会社である。会社全体の敷地面積は57,850 m²で、2020年6月現在、311名の従業員が業務にあたっている。

高圧ガスを扱うポリマー部門の概要は、以下のとおりである。

- ・ポリマープラント面積：34,450 m² (全体の約60%)
- ・ポリマー部門従業員：98名 (2020年6



写真1 徳山積水工業(株)外観

月現在)

- ・現場運転体制：4組3交替 (1組：9名)

3 高圧ガス施設と取り扱う高圧ガス

- ・塩化ビニル樹脂製造プラント (塩化ビニルモノマー)
- ・塩素化塩化ビニル樹脂製造プラント (塩素)
- ・アクリル系機能粒子プラント (アクリロニトリル)

4 表彰履歴

(会社表彰)

- ・1981年 高圧ガス優良製造所 高圧ガス保安通商産業大臣表彰受賞
- ・2016年 高圧ガス優良製造所 高圧ガス

保安中国四国産業保安監督部長表彰受賞

- 2019年 高圧ガス優良製造所 高圧ガス保安経済産業大臣表彰受賞

(個人功労表彰)

- 高圧ガス保安 原子力安全・保安院長 / 高圧ガス保安中国四国産業保安監督部長表彰受賞：2名
- 高圧ガス保安功労者 山口県知事表彰受賞：10名

5 保安に対する意識とレベル向上の取組み

当社は、「徳山積水保安マニュアル」として、保安管理システムを文書化し、それに即したマネジメントを遂行することで、保安水準の維持向上を図っている。

当社社長が、年度初めに保安方針と保安管理目標を定める。そして、すべての従業員へ周知と理解をさせる。周知の方法として、①掲示板への内容掲示、②カード化して配付・携帯、③朝礼や懇談会での繰り返しの伝達を実施している。

また、毎年7月の朝礼時には、前年度の業績・成果に貢献した従業員だけでなく、安全・保安に貢献した従業員を必ず表彰し、従業員のやる気を引き出すようにしている。

保安管理活動を行っている当社の3管理部門（保安、運転、設備）に属するメンバーは、以下の会議体に参加し、意思の疎通（コミュニケーション）を図り、間違い防止、活動の遅延防止に努めている。

1) 日常ミーティング

平日の毎日、始業時に、現場の運転状況、

工事内容、行事有無の確認を行う。

2) 現場工事危険予知

火気や重機使用作業でプラントに影響を及ぼす恐れがある場合は、工事内容を確認し、安全対策の協議と現場工事チェックシートによる打合せを実施する。

3) DR 会議

製造工程、製造設備、製造条件等、変更を行う場合は、その変更内容と保安に影響を与える評価結果を審議して、変更実施の可否を判定している。

4) 保安技術委員会

保安目標を達成するための保安管理活動の進捗状況把握を毎月行っている。変化している状況に配慮し、必要に応じて、活動計画の見直しも行う。

3管理部門の長は、毎日、現場を見廻り、“不安全作業を行っていないか”、“不安全設備になっていないか”、チェックを行い、不安全な内容については、関係担当者に指示を出して、改善につなげている。

また、当社社長による現場見廻りを、毎月3回設定し、実施している。経営者目線の指摘は、固まった見方に幅を与え、改善の多様化につながっている。

保安管理活動を行うすべての従業員に対しては、保安教育計画に基づいて、保安に対する教育訓練を実施している。特に、緊急事態を想定した対応訓練に重きを置き、全体の総合防災訓練を年2回実施、防災組織毎の現場および頭上訓練*も定期的にも実施している。当社には、緊急時対応マニュアルは存在する。想定されるリスクへの対応は、このマニュアル

* 頭上訓練：図上訓練の“図”をあえて“頭”に置き換えた言葉である。①理解度を深める教育的な側面と②既存リスクの対策見直しや新たなリスクを発掘し想定内リスクとして扱うリスクマネジメントの側面をもつ訓練であると考ええる。

ルを用いて訓練を行うが、想定外のシビアなアクシデントが発生した場合に、①発生事態の的確な理解→②安全サイドの冷静な判断→③具体的措置がとれる、従業員を育てる目的で、頭上訓練を必須としている。想定外の事態を設定し、答えを導くトレーナーの育成も大事になる。

当社では、毎年4月下旬から6月上旬にかけて、ポリマー製造プラント(写真2)の定期自主検査(SDM)を実施している。その半年前から準備に入り、3管理部門の足並みを揃えていく。SDM期間中は、統括安全管理体制を敷き、業者入構教育、始業時全体ミーティング、現場パトロール、工事進捗会議、翌日の作業内容共有等を日々行い、保安を確保している。非常常作業が続く中、絶対に事故を起こさない覚悟のもと、確実な検査を実施している。

6 おわりに

当社は、1964年1月20日の会社設立以来



写真2 プラント外観

56年間、高圧ガスおよび危険物事故ゼロを継続している。当社にとっての誇りであり、永久に継続しなければならない責任を真摯に受け止めている。

当社の経営理念を以下に記す。

“人と技術と立地を活かし、新たな価値を創造して、社会に貢献する”

この理念の基盤は、確固たる安全・保安である。これからも人を育て、保安技術を高め、地域の方々に、安心、そして信頼していただけるように努めていく。

江口吉彦(えぐち よしひこ)